

やんばる3村 持続可能な地域づくり応援講座

受講者募集のご案内

やんばる3村（国頭村、大宜味村、東村）における持続可能な地域づくりを支援するため、今後の地域づくりを担う地域住民を対象に、以下のとおり講座を開催します。

この講座の目指すこと

- ・全国の地域づくりの実践的なノウハウを得ていただきます。
- ・3村それぞれの資源（人、自然、文化、暮らし、取り組み）について、お互いの理解を深めることを目指します。
- ・やんばるの持続可能な地域づくりの基礎となる、地域のリーダー同士の連携強化を目指します。
- ・次年度以降の3村の協働的な取り組みへの足がかりを作ります。

持続可能な地域づくりはどうやって？

この講座の特徴

- ・持続可能な地域づくりに取り組む全国のエキスパートを講師として招きます。
- ・講座の主人公は参加者であるみなさんです。みなさんと一緒に課題解決に向けた講座をつくっていきます。

1. 主催

環境省那覇自然環境事務所、やんばる自然体験活動協議会

2. 実施機関

NPO 法人 持続可能な開発のための教育の10年推進会議(ESD-J)

NPO 法人 国頭ツーリズム協会(KUTA)

3. 参加対象

やんばる3村の住民の方々

- ・3村の行政職員
- ・エコツーリズム、グリーンツーリズム、自然体験、宿泊施設などの事業者
- ・地域づくりの核となる若手 など

4. 受講料

無料

5. 募集人数

約30名程度

6. 開催期間・講座回数

平成20年10月～平成21年2月（全5回）

週末の午前中 3時間程度（午前9時～12時）

（裏面へつづく）



7. 会場

3村内の集会施設や公民館

大宜味村（第1回、第5回）、国頭村（第2回、第4回）、東村（第3回）

8. 研修日程、講師、テーマ（予定）

第1回 10月11日(土) 9:00~12:00（場所：大宜味村農村環境改善センター）

「持続可能な〇〇ってなんだろう？

～お互いがゆっくと知り合う～

講師：ESD-J 理事、琉球大学准教授 大島順子

第2回 11月1日(土) 9:00~12:00（場所：国頭村保健センター）

「地域の記憶と資源を見直す

～地域の資源とエコミュージアム～

講師：NPO 法人 環境文化のための対話研究所 代表 嵯峨創平

第3回 12月7日(日) 9:00~12:00（場所：東村役場大会議室）

「自然環境の保全と地域の活性化

～地域住民主体の生態資源管理と地域活性化～

講師：NPO 法人 黒潮実感センター センター長 神田優（農学博士）

第4回 1月17日(土) 9:00~12:00（場所：国頭村保健センター）

「グリーンツーリズムの今とこれから

～都市と農村交流、コミュニティビジネス～

講師：NPO 法人 えがおつなげて 代表 曾根原久司

第5回 2月14日(土) 9:00~12:00（場所：大宜味村農村環境改善センター）

「やんばるの“これから”を描こう

～地域の資源と人づくり～

講師：ESD-J 理事、琉球大学准教授 大島順子

9. 募集締め切り

平成20年10月9日（木）

10. お申し込み・お問い合わせ

受講希望者は、「住所、氏名、職業、連絡先（電話番号、メールアドレス）、受講動機」を明記の上、以下まで電話又はファクスでお申し込みください。

NPO 法人 国頭ツーリズム協会

電話：50-1130 ファクス：50-1133

応募者多数の場合は、主催者側で選考させていただきます。あらかじめご了承ください。

ESD（持続可能な開発のための教育）とは、社会や地域の課題を自分ごととしてとらえ、持続可能な社会、地域へ変えていくための、意識改革や具体的な行動へと導くことを目指す学習活動です。

NPO 法人 持続可能な開発のための教育の10年推進会議（ESD-J）は“持続可能な開発のための教育”を推進するネットワーク団体です。ESD に取り組む、NGO/NPO・教育関連機関・自治体・企業・メディアなどの組織や個人がつながり、ESD 推進のための政策提言、国内および世界とのネットワークづくり、情報発信、研修・人材育成を行っています。詳しくは ESD-J のホームページ（www.esd-j.org）をご覧ください。



講師プロフィール

ESD-J 理事 琉球大学准教授 大島順子氏

沖縄やんばるの海と山に囲まれ自然の恵みに支えられた生活文化が残る国頭村に住み、村人たちと地域資源の持続的な利活用をもとにした地域づくりにじっくり熱く取り組む。琉球大学観光産業学部観光科学科准教授。NPO法人国頭ツーリズム協会顧問。NPO法人「国連・持続可能な開発のための教育の10年」推進会議理事。大学では持続可能観光分野で「環境教育論」や「エコツーリズム論」、「地域づくりと観光開発」などを担当。

NPO 法人 環境文化のための対話研究所 代表 嵯峨創平氏

民間の地域開発・地域振興系シンクタンクの研究員を経て、1995年に独立。まちづくり／環境教育／博物館などに関わるフリーランスのプランナー&ファシリテーターとして活動を始める。2003年春、エコミュージアムの研究と実践をテーマにしたNPO法人「環境文化のための対話研究所（IDEC・アイデック）」を設立。現在、代表理事・事務局長。2005年より奥会津の三島町にて、エコミュージアムによる地域づくりをコーディネートすると共に、「奥会津案内人講座」を開講中。

NPO 法人 黒潮実感センター センター長 神田優氏

昭和41年高知市長浜に生まれる。子どもの頃からの海好き、釣り好きで魚好き。それが高じて高知大学農学部栽培漁業学科に入学。学生時代は釣りと高知県・沖縄県座間味島でのダイビングガイドで生計を立てつつ学問に励む。経験タンク本数5000本。大学院博士課程で東京大学海洋研究所に在籍し、平成8年に学位農学博士取得。専門は魚類生態学。平成10年から柏島に移り住み、高知大学や高知医科大学非常勤講師を続けながら、黒潮実感センターの設立にむけて奔走、現在センター長

NPO 法人 えがおつなげて 代表理事 曾根原久司氏

山梨大学客員准教授、やまなしコミュニティビジネス推進協議会会長、関東広域コミュニティビジネス推進協議会幹事、山梨県立農業大学校講師、内閣府地域活性化伝道師
東京にて金融機関等の経営コンサルタントを経て、1995年山梨県北杜市白州町へ移住。個人として、農村事業（農林業・都市農村交流事業等）を開始し、農村事業のノウハウを蓄積する。2001年NPO法人えがおつなげて設立依頼、農村地域の活性化、都市と農村交流事業、人材育成事業などを北杜市のみならず、全国で精力的に展開。

(本講座の進行役)

NPO 法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議 事務局 佐々木雅一氏

旅行会社や環境教育施設等での勤務を経て、2006年より持続可能な開発のための教育の10年推進会議事務局スタッフとして勤務。これまでの経歴を生かし、ESDの広報活動やテキストブックの開発、ESD研修の開発などを担う。ESD関連セミナーの講師や、ワークショップなどのファシリテーターなど多数務める。